

yaless AI 単体導入ケース :

損紙を減らし、 印刷品質を安定化

印刷品質のばらつきを抑制し、安定した品質を実現。属人的な対応を解消するとともに、資材ロスを最小化することで、生産コストおよび環境負荷の双方における改善に貢献します。



yaless Series Use Cases :

yaless AI

現場課題

印刷品質を安定的に維持するには、周辺温湿度、湿し水やインキの温度など、数多くの環境・機械条件を適切に管理する必要があります。

これらを的確に判断・調整するには熟練オペレーターの経験と勘が不可欠であり、熟練者への依存が人材確保の大きな制約となっています。

さらに、試し刷りに要する時間の短縮と損紙削減、また、最適な印刷条件の維持は、生産性向上に直結する重要な課題となっています。

yalessシリーズは、機械制御系との連携をはじめとする柔軟なカスタマイズにより、現場ごとの課題や運用に合わせた多彩な活用が可能です。

課題解決のアプローチ

yaless AIを導入することで、現場の周辺温湿度、湿し水やインキの温度など、印刷品質に影響する環境や機械情報を元に、最適な印刷条件を予測・提示することが可能。

オペレーターは提示された条件を基に作業することで、印刷品質の安定と損紙削減を実現できます。

提供される主な機能

- ✓ 周辺環境データ（温湿度、湿し水・インキ温度など）の自動計測
- ✓ マシンラーニング（機械学習）による最適印刷条件の予測・提示
- ✓ 最適な印刷条件からの逸脱に対する防止アラートと自動調整

オフセット印刷の
品質の安定化と
ばらつき防止

試し刷り時間の
短縮

損紙削減による
コスト低減と環境
負荷軽減

